



学校関係者評価報告書 2016年度

2017年7月

学校法人 日中文化芸術学院
日中文化芸術専門学校

目次

基準1	教育理念・目的・育成人材像等	1
基準2	学校運営	3
基準3	教育活動	
	観光・通訳ガイド学科	5
	日中通訳学科	7
	日本語・日本文化学科	9
基準4	教育成果	11
基準5	学生支援 教育面	12
基準6	学生支援 生活面	13
基準7	教育環境	17
基準8	学生の募集と受入	18
基準9	法令等の遵守	20
基準10	国際交流	22

評価結果

- 5 完璧
- 4 かなり進んでいる
- 3 普通
- 2 ほとんど進んでいない
- NA 当てはまらない

基準1 教育理念・目的・育人人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念：国際的に活躍できる文化・翻訳・通訳・観光分野の人材を育てることが本校の理念である。</p> <p>教育目標：文化・翻訳・通訳・観光の知識を合わせ持つ総合的人材を育て、本学院生が世界の舞台で活躍し、社会的貢献をすること。</p> <p>能力1 健康な心身と豊かな人間性の育成；国際的な視野の育成；即戦力、学力を揃えたハイレベルな人材育成。</p> <p>能力2 柔軟な問題解決能力と実践力。</p> <p>能力3 優れたコミュニケーション能力。</p> <p>能力4 基礎学力の充実と自主的、継続的学習能力。</p> <p>これらの内容に基づいてシラバス、カリキュラムを作っているため、実現する可能性は高い。</p>	<p>本学は、学校教育法及び私立学校法に基づき、「観光・通訳ガイド」「日中通訳」「日本語・日本文化」に関する専門的な知識及び技術を修得させ、実務若しくは実生活に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。2015年4月開校以来、2年間という短い時間ではあるが、特色ある教育活動を目指し、語学教育と共に実習を取り入れた実践的な教育を行なえるよう、専門分野ごとの教育課程検討の場を充実させ活用している。</p>

基準1 教育理念・目的・人材育成像 点検総合平均: 4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
1-1 理念・目的・人材育成像は定められているか。	4	明確に定められている	各会議で明示し、HP及び学則にも明記されている	理解し、また各教育活動でそれを活かせることが必要である	HP、学則、手引きなど
1-2 学校として特色を有しているか。	4	学生、教員たちへの理解は行き届いている	留学生が多い現状に合わせて、留学生支援室を設立した。語学教育を中心に社会人教育を推進している	理解するレベルにはばらつきがある	
1-3 学校として将来構想を抱いているか。	5	設立したばかりの学校であるが、進学率、就職率の向上のための取組も行っている	将来構想は常に学生、教職員に伝えられている	将来像だけではなく、細目をさらに工夫する必要がある	HP、学則、手引きなど
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか。	3	留学生が多いため、保護者との連携が難しい現状がある	学生、関係者にはHP、授業などで伝えられている	公表だけではなく、浸透するまでには工夫が必要である	HP、学則、手引きなど
1-5 各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	各学科は就職、進学を中心に教育活動を行っている	観光通訳業界にある程度評価されている	時代の発展に従い、随時検討する必要がある	

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
すべての点検小項目基準を満たしている	学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などをさらに理解してもらい、それを中心に教育活動を行う工夫が必要である。

最終更新日付	2017/7/28	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2015年4月に設立されて以来2017年7月に至るまでの二年間は、安定した運営状況だと判断できる。活動・組織・運営、人事・給与に関する制度も完備されつつあり、情報システムも随時更新されるようになっている。</p>	<p>2016年4月に日中文化芸術専門学校教職員就業規程を大阪中央労働基準監督署に登録し、人事管理について、制度上完備されている。</p>

基準2 学校運営 点検総合平均: 4.2

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-1 運営方針は定められているか。	4	各会議で全校教職員に示している。		理解度を確認する必要がある。	
2-2 事業計画は定められているか。	4	各形式で関係教職員に示している。	定期的あるいは、定期的に関係教職員に事業計画を示している。	理解度を確認する必要がある。	
1-3 学校として将来構想を抱いているか。	5	つねに学生・教職員に示している。	HP、授業を通し示している。	さらに深く理解してもらうための工夫が必要である。	HPなど
2-3 人事や賃金における処遇に関する制度は整備されているか。	4	徐々に整備されている。	2016年4月に日中文化芸術専門学校教職員就業規程を大阪中央労働基準監督署に登録している。	仕事が個人の意欲のみによって展開されるだけではなく、組織として、制度上個人の意識と共に業務を進める改善を課題としている。	
2-4 意思決定システムは確立されているか。	4	校長・「教員会議」「事務局会議」を中心に行っている。	定期的に行われている「教員会議」と不定期に行われている「事務局会議」がある。	「学科長会議」「幹部会議」「学生委員会会議」などを常設し、学校運営を円滑に推進できるようにする必要がある。	教員会議議事録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は、全ての点検小項目について基準を満たしているが、文書化されていない項目が多いため、点検点数が低い。	多くの項目の内容を文書化し、細目まで徹底的に業務を推進する必要がある。

最終更新日付	2017/7/28	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準3 教育活動一 観光通訳ガイド学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>観光通訳ガイド専攻学科は、三学科の内の一つとして設置されているが、他の二学科と違い、中国人の日本観光ブーム、爆買い現象などを背景にして更に今後の流れに乗っていく為に総合的な応用型人材を育成することが急務である。ガイド業務、日本史、観光日本語、日本地理、観光英語、日本観光概要、日本旅行業法など特殊な科目が設置されている。</p>	<p>学生の殆んどは留学生又は中国の大学在校生で、両国の言葉ツールにして、日中両国の文化や習慣をはじめ、観光客に客観的に歴史、地理、気候、文化、習慣などを説明することによって、正しく日本を認識してもらう。日本の製品を中国人に使ってもらい、日本の経済発展にも役立つ。観光を通して両国民に相互理解や平和友好を促進する趣旨とする。</p>

基準3 教育活動—観光通訳ガイド専攻学科 点検総合平均: 4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	4	旅行業発展の現状に合わせて、中国語と日本語の聞き取り、会話、通訳など観光業界の応用型専門人材を育てる。	学科の教育目標、人材育成像を手引きなどの文書で示し、正しく方向付けしている。	特になし	学則
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	3	カリキュラムを編成する体制はある。	普通の授業には織り込んでいるが、編成に関する責任者や、職務分掌を明確にしているが、まだ明文化にしていない。	観光業界の現状に合わせて対応していく必要がある。	学則
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。	4	各科目は、適正な位置付けを意識しつつ作成している。	担当講師を中心に行われている	担当教師の事情によって、うまく組めなかった場合がある。	授業評価表
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	昨年度から担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行っている。	教員授業アンケート 学生授業アンケート	講師との面談を実施	授業評価表
3-5 育成目標に向ける授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	確保していると考えられる。	学生授業アンケート	教員の募集体制を更に整備する必要がある。	教員の履歴書など相関資料
学校関係者評価報告書	5	学則に従って授業時間数で各教科の単位を設定し、各教員のシラバスによって成績評価している	成績表あり 学生規程に明記している。	成績評価・単位認定の基準を整理し、その規程を作成する必要がある。	学則 学生手引
3-7 資格取得の指導体制はあるか。	4	日本語能力試験や通訳案内士および国内旅行業務の補講を行っている	受験状況を把握している。	徹底的に把握するための体制を作る必要がある。	日本語能力補講 時間割表
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	各自の研修を行っているし、定期的に学科の研修も行っている、制度的に定めていくつもり。	教科書研修を自主研修として行っている、定期的に学科別の研修会を行う。	制度化する必要がある。	教員研修報告書
3-9 学生進級、留年の認定基準は明確になっているか。	5	教員会議でその基準を規定し、それに準じて学生の進級、留年を判定会議で決めている。	進級、留年学生の結果を公示している。	規程として整備する必要がある。	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	前年度の学年試験には不合格の学生に各科目で補講を行っている。	計6科目以上の教科について補講を行っている。	特になし	補講時間割、教員会議記録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
観光通訳ガイド専攻学科は、教育活動において、すべての点検小項目について基準を満足している。	特になし。

最終更新日付	2017/7/24	記載責任者	胡海
--------	-----------	-------	----

基準3 教育活動一 日中通訳学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日中通訳学科は学校の三学科の一つとして設置されているが、他の二つの学科と違い、留学生の場合、日本語がN1に準ずるレベルで、日本人学生であれば中国語も理解するべく語学的に厳しい要求がなされている学科である。教育目標は、言語を訳せる能力を養成することだけではなく、留学生の場合は、日本で進学することも目標とする者が多い。語学の科目だけではなく、経済学、経営学、社会学、日本文学、日本文化研究など人文科学の専門課程も設置し、多分野で翻訳・通訳として活躍できる人材を育成する条件を整えている。</p> <p>今の段階では、学生は留学生がほとんどとなっており、中国の大学の在学生、卒業生などが多い。日本での大学院への進学を希望している。授業評価については、かなり評価が高い授業が多いが、教員の研修などの教育活動をさらに体系化する工夫が必要である。</p>	<p>中国からの留学生を中心として、中国語会話が可能なベトナム籍の学生もいる。昨年に比べ、大学や大学院進学希望者のほかに、就職希望者も増えてきた。入試対策のほか、就職支援も積極的に行っている。</p>

基準3. 教育活動—日中通訳 点検総合平均: 4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	4	専門的な科目を設け、通訳に相応しい教育を行っている。	学科の教育目標、人材育成像を学則、手引きなどの文書で示し、正しく方向付けている。	特になし	学則
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	3	カリキュラムを編成する体制はある。	編成に関する責任者や、職務分掌を明確にしているが、まだ明文化はされていない。	学年ごとにカリキュラムを検討する必要がある。	学則
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。	4	各科目は、適正な位置付けを意識しつつ作成している。	担当講師を中心に行われている。	担当教師の事情によって、うまく組めなかった場合がある。	授業評価表
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	昨年度より担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行っている。	教員授業アンケート 学生授業アンケート	講師との面談の実施	授業評価表
3-5 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	確保している	学生授業アンケート	教員の募集体制を更に整備する必要がある。	教員の履歴書など 関連資料
3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	5	学則に従って授業時間数で各教科の単位を設定し、各教員のシラバスによって成績評価している。	成績表がある。 学生規程に明記している。	成績評価・単位認定の基準を整理し、その規程を作成する必要がある。	学則 学生の手引き
3-7 資格取得の指導体制はあるか。	4	日本語能力試験の補講を行っている。	受験状況を把握している	徹底的に把握するための体制を作る必要がある。	日本語能力補講 時間割表
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	各自の研修は行っているが、制度的にまだ定めていない。	教科書研修を自主研修として行っている。	制度化する必要がある。	教員研修報告書
3-9 進級、留年の認定基準は明確になっているか。	5	教員会議で基準を規定し、それに準じて進級、留年を判定会議で決めている。	進級、留年の結果を公示している	規程として整備する必要がある。	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	前年度の学年試験で不合格の学生に各科目で補講を行っている。	計6科目以上の教科について補講を行っている	特になし	補講時間割、 教員会議記録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
ほぼ基準に満たしている。	特になし

最終更新日付	2017/7/24	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準3 教育活動一一日本語・日本文化学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス数が一気に増えたため、ある程度教材を統一した。しかし各講師の教育法や内容をチェックしたところ、学生の日本語レベルの低さからテキストを使わず易しい内容のプリントを自分の判断で用意する講師や、非漢字文化圏の学生の教育に不慣れな講師が目立ちはじめ、クラスごとの学習内容にばらつきが出始めた。校舎も講師も増え、全体がわかりにくくもなっていることから講師間の情報の共有が今後の課題である。</p>	<p>初年度ほどの日本語のレベルが極端に低い学生はいないが優秀な学生とそうでない学生の差は依然大きい。学習意欲が低い学生もタイプがあり、わかってはいるがスマートフォンの依存がやめられない学生（レベルはさほど低くはない）と、もともと基礎が低く勉強が好きではない、稼ぐこと以外に目標をもてない学生も少なくない。目下スマホ依存は大きな問題である。また日本文化関連の科目にあまり関心が無い学生も少なくない。今年度は1年次から経済学をカリキュラムに入れたものの、日本で就職した時に理解の支えとなり、学生が興味を持てるような、身近な日本の経済事情に関する内容を今後は増やしていくべきである。</p>

基準3 教育活動—日本語・日本文化学科 点検総合平均: 3.5

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	4	明確に定められている。	学校生活の手引き、HP、学校案内に明示されている。	HP及び学校パンフレットの整備が必要である。また理念の文面を現状にあわせ若干変更する必要もある。	HP、学校案内、学生生活の手引
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	概ね体系的に編成されている。	当校学校生活の手引きに記載、学校案内に主な授業科目のみ記載。	HP、学校案内で紹介の授業科目編成内容がやや簡単である。学科としての方向性をもう少し詳しく示す必要がある。	学校案内、学生生活の手引
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけがされているか。	4	概ね適正な位置づけがされている。	学校案内	適正な位置づけはされているがもう少し詳しく学校案内、HPで示す必要がある	学校案内、学生生活の手引
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3	担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行っている。事務的な問題がある。	教員授業アンケート 学生授業アンケート	担当者が定期的に各授業の評価を行い適正かどうかのチェックを行う	授業評価表
学校関係者評価報告書	2	最低限の確保に留まっている。	クラスが増えたため、資格のある講師を招いているが経験は必ずしも十分ではない。	新任講師、非常勤講師にも採用後に研修会などを実施し、教育目標、授業内容、学生レベルなど詳しく確認しておく。また引き続きふさわしい教員の確保に努める	教員の履歴書など関連資料
3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	5	基準はある。	学生生活の手引きに定めている。	成績評価・単位認定の基準を整理し、その規程を作成する必要がある	学則 学生生活の手引き
3-7 資格取得の指導体制はあるか。	3	概ね体制がある。	日本語能力検定試験の模試の実施や対策講座を行っている。	補習の参加者が少ないため、授業内での対策も行う。	日本語能力補習案内通知、授業日誌
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	必要に応じ研修を行っているが、制度的、定期的というわけではない。	夏休みに新任講師の研修を行った。クラス担任や学生から意見を聞き必要に応じその都度担当講師と教授法、内容について情報交換している。	講師が増えスケジュールが合いにくいので、少人数で集まり問題点、解決策などを共有していくほか、学生の夏休み冬休み期間を利用して定期的に研修会を実施していく。	教員研修報告書、教員日報
3-9 学生進級、留年の認定基準は明確になっているか。	5	明確に定められている。	学生生活の手引き	規定どおりに厳しく行った結果、10名の留年者を出した。今後は留年にならぬよう学生らへの日々の指導が重要である。	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	年度末に実施されている。	単位が取得できていない学生には補講、追試を行っている。	半年おきに実施が望ましいが、補講が必要な学生に限って受講を嫌がり、出席率が低い。しかし年度末には補習及び追試の日程を組んで実施し、該当者は概ね出席している。	補習時間割、教員会議記録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
日本語・日本文化学科は、教育活動において、すべての点検小項目について概ね基準を満たしている。	日本語能力の向上だけでなく、就職、進学向けの教育活動を積極的に取り入れることが必要である。またそれに見合う優れた教員の確保が課題である。

最終更新日付	2017/7/20	記載責任者	沖元 延子
--------	-----------	-------	-------

基準4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校創立3年目であり、2017年7月現在では、進学率、就職率などの比較はできない。第一回卒業生は2017年3月である。	教育成果の中で進学率、就職率を百分率で比較することできない。

基準4 教育成果 点検総合平均: NA

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-1 定期試験の成績公示を行っているか。	4	前期・後期試験の通知	成績表、試験結果の通知		成績表
4-2 資格取得率の向上が図られているか	NA	2017年日本語能力試験合格者未発表		日本語能力試験の指導	
4-3進学率の向上が図られているか。	NA	2017年第一回卒業生		進学指導の実践	卒業生進学リスト作成
4-4退学率の低減が図られているか。	2	今年度入学数の大幅増加	退学リスト		
4-5就職率の向上が図られているか。	NA	2017年3月第一回卒業生		就職指導の実践	卒業生就職先リスト作成
4-6 在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	1	在学生は学校とアルバイトに生活の中心がある			

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	2017年3月の卒業生との比較が今後可能になる。

最終更新日付	2017/7/24	記載責任者	廣田 慎吾
--------	-----------	-------	-------

基準5 学生支援—教育面

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2015年4月に開校したばかりだが、本格的な進学、就職指導の体制を整いつつである。日中通訳学科では、大学院・大学への進学希望者が多いので、すでに担当者がきめの細かい指導を行っており、2016年4月までの卒業生は名門大学・大学院に進学した。観光通訳ガイド専攻学科は就職をめざす学生を対象として設置されており、卒業生の多くは観光業界などに就職した。日本語・日本文化学科は専門知識を育成中、日本語能力を高めるように力を注いでいる。全学科には社会が必要な人材の育成に重点において、教育している。</p>	<p>カリキュラム内での社会に必要な知識の授業を中心に行っている。資格取得を強化した授業を組まれている。日本語能力試験対策として、N1,N2の受験生には補講を実施している。今後について、添乗員、簿記などの資格取得は課題である。</p>

基準5 学生支援—教育面 点検総合平均: 4

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-1就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	4	全校体制化した、進路指導室を開設した。	進路指導室、求人情報提供公開掲示板など	早い段階で、より多くの学生が進路についての準備や行動を行いように指導体制を推進する必要がある。	
5-2留学生のための日本語指導等の体制は整備されているか。	4	カリキュラム内の日本語学習が充実している。	成績不振者に補講を実施している。	全ての授業で留学生の日本語能力を高める工夫が必要である。	カリキュラム表 補講実施表

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各項目の基準を満たしていると判断できる。	これから、さらに全校体制で進路指導室と連携を取り、就職・進学のためのカリキュラムの編成や改善、または支援活動を強化する必要がある。

最終更新日付	2017/7/24	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準6 学生支援――生活面

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援は進学指導体制の構築、就職活動指導体制作りと進んでいる。学生寮の整備、アルバイト指導を強化している。留学生に対するビザの更新に関する指導も常に行っている。</p>	<p>多国籍の留学生が多い為、各言語対応が必要となっている経済力が弱い留学生に対して、学費の個人相談、アルバイトを含めた支援が重要となっている。</p>

基準6 学生支援—生活面 点検総合平均: 3.8

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-1就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	4	整備されている	進路室と進路指導担当を配置している。		
6-2学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか。	3	普通	アルバイトの紹介などの支援活動を積極的に行っている。	さらに支援を行う	
6-3学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか。	4	機能している	学生の健康管理を担い、病気の学生を病院に付き添っている。		
6-4学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	整備されている	定期的に学生寮の点検、衛生検査を行っている。		
6-5保護者と適切に連携しているか。	4	連携している	保護者と連絡の連携を取り組んでいる。		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各項目について基準を満たしている。	留学生が多い為、経済的に困難な学生へアルバイトの支援も必要である。

最終更新日付	2017/7/21	記載責任者	渡邊 春蕾
--------	-----------	-------	-------

基準7 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、事業計画に明確にして、安全、快適な教育環境を提供できるように計画的に整備している。留学生が多いため、防災対策として、防災センターの見学、防犯・防災講習会や非常口の定期点検などを実施している。図書室も蔵書量を増やすことで充実させている。学外実習等の体制も整備されている。学園祭・運動会・音楽祭を実施した。これからも毎年を行う予定である。</p>	<p>2017年4月に同時通訳室が設置されている。 2017年4月からさらに校舎を2号館、3号館まで増加した。 毎年新入生に対して、警察署による交通安全・防犯・防災講習会が行われる。 阿倍野防災センターで新入生に防災講習を受けさせる。 自転車置き場の明確化や専属警備よりの案内を実施した。 相談窓口の学生課の職員を増員した。と留学生ための支援室を開設した。</p>

基準7 教育環境 点検総合平均: 4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	計画的に対応している	2017年4月からさらに校舎を2号館、3号館まで増設した。	校舎の拡大より学生の教育環境の改善する必要がある。	
7-2 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	実習制度を作成している	2年生は学外実習体制がある。また、学園祭・運動会・音楽祭を実施した。		HP（台湾修学研修など）
7-3 校舎平面図、備品台帳、図書室台帳などの教育環境関連物品を揃っているか	4	揃っている	備品リストが作成されている	図書室の充実に関してさらに工夫する必要がある。	
7-4 企業団体など連携契約体制を整備しているか	4	連携契約体制を整備している	海外の大学、日本の旅行会社などとの連携体制が整備されている。	学生に便利を図るため、企業を招いて説明・面接会の実施を行いたい。	
7-5 防災に対する体制は整備されているか	4	積極的に推進している	新入生に対する防災、防犯教育制度がある。		HP

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育環境は全ての点検小項目について基準を満足している。	実習室（図書室）の充実に関してさらに工夫する必要がある。これにより教育環境と学習雰囲気の向上に繋がる。

最終更新日付	2017/7/26	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準8 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の紹介は、ホームページ、パンフレット、チラシ、広告を通じて入学希望を持っている学生に周知徹底している。海外留学生の募集は、海外へ直接行って説明会を実施。国内の募集は、日本語学校や高等学校へ行って説明会を行ったり、進学フェアの参加することにより市場調査と学校間の信頼関係を強化し、質の高い学生募集を行っている。特に、海外では、現地の大学とも提携し、交換留学など募集・受け入れにつながるシステムを確立している。選考基準を定め、入学試験を実施し、厳正な募集を実施している。2016年4月期生は約5割の合格率だった。</p>	<p>ビデオ映像や写真等を多く活用し、視覚に訴え、希望する学生たちが自分の目で見えて、理解できる学校紹介を心がけている。また、学校内の教育質の向上、親身な学生対応や豊富の学生活動の充実など学生目線に立った学校づくり、改善や強化により、良い口コミに繋がり、口コミよりの受験も多くあった。</p>

基準8. 学生募集と受け入れ 点検総合平均: 4.7

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-1学校案内に関する資料が揃っているか。	5	揃っている	ホームページやパンフレットに明記している	日本語・中国語版がある。ベトナム語版を作る予定	ホームページ、パンフレット
8-2学校案内に関する資料は定期的に更新されているか。	4	適正に更新されている	ホームページで更新されている	更新の回数を増やす予定	ホームページ、パンフレット
8-3学生募集活動は、適正に行われているか。	5	適正に更新されている	時期によって行われている	特になし	教員会議、議事録
8-4入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	5	適正に更新されている	選考基準に基づいている	選考課題を増やす予定	
8-5学生募集活動に関する規程などの書類を整備しているか。	5	整備している	学生の手引きによる	特になし	学生の手引き、学則、内規
8-6学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	正確に伝えられている	面談で説明している	多言語対応をしている	
8-7学納金は妥当なものとなっているか。	5	妥当なものとなっている	他校のものと比較対照している	特になし	

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集・受け入れ体制は、パンフレットや選考基準で万全と言える。 日本人募集を強化する必要がある。	海外の留学生及び日本国内の学生の両方に対して募集活動を行っているため、よりわかりやすい募集、受け入れ体制を構築する必要がある。

最終更新日付	2017/7/21	記載責任者	愛甲芳華・大森優美
--------	-----------	-------	-----------

基準 9 . 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>監督官庁の大阪府私学・大学課・入国管理局が定めた法令等を遵守して学校運営を行っている。 自己点検・自己評価を制度化し、毎年、定期的に行うように定めている。</p>	<p>自己点検・自己評価報告書及び関連資料の精度をさらに上げる必要がある。</p>

基準9 法令等の遵守 点検総合平均: 4.3

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-1法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令に従って運営している	常に官庁に法令や基準など確認している		学則
9-2個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	個人情報の重要性を十分に認識し、学校全体の取組みとして各種情報の保護を図っている		さらに制度化し、学生に十分に周知する必要がある	
9-3自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	積極的に努めている	自己点検・評価報告書及び関連資料	毎年自己点検・評価の結果より改善している	自己点検・自己評価報告書
9-4自己点検・自己評価結果の公開はしているか	4	毎年情報公開している	ホームページに公開している自己点検・自己評価報告書		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
9-4以外、各項目の基準を満たしている	自己点検・自己評価報告書及び関連資料の精度をさらに上げる必要がある。

最終更新日付	2017/7/24	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準10 国際交流

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生を積極的に受け入れ、日本国内から多くの留学生が入学した。海外の多数の大学と姉妹校を締結し、異文化交流の促進を積極的に行い、日本だけでなく、世界へと広く視野を持った人材育成を目的としている。留学生支援室の設立。各在籍国の母国語がわかる職員の増加。留学生のビザ更新指導、留学生寮の設置、留学生奨学金制度及び日本語教育の取組みなど。進路指導室より留学生ための求人情報提供している。留学生ための活動を充実している。ますますの国際交流、留学生体制を進化している。</p>	<p>中国とベトナムをはじめとする多くの留学生に対応する関連業務を積極的に推進した結果が表れた。それにより安定した学校運営ができています。2016年には、本校の台湾姉妹校へ第一回の台湾研修旅行を行った。運動会・学園祭・音楽祭には各国籍の方が参加し、国際交流を行った。</p>

基準10 国際交流 点検総合平均: 4.3

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
10-1留学生募集体制を整備しているか	4	整備されている	募集・受入れ体制と資料など	変化に伴う改善をする必要がある	HP、パンフレット、チラシ、動画など募集用資料
10-2留学生管理体制を整備しているか	4	整備されている	教務課より出席率と成績率の指導と管理を徹底的している。留学生のビザ管理、防災教育などの業務を行っている	業務のマニュアル化・組織化を強化する必要がある	教員会議議事録など
10-3留学生支援体制を整備しているか	5	整備されている	留学生支援室の設立。各在籍国の母国語がわかる職員の増加。留学生のビザ更新指導、留学生寮の設置、留学生奨学金制度及び日本語教育の取組みなど。進路指導室より留学生のための求人情報を提供している。留学生ための活動が充実している。	業務のマニュアル化・組織化を強化する必要がある	教員会議議事録など

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全ての項目の基準について満たしている	業務のよりよいマニュアル化・組織化をさらに推進する必要がある

最終更新日付	2017/7/25	記載責任者	大森 優美
--------	-----------	-------	-------